科目名	在宅看護学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in Home Care Nursing	担当教員 (研究室番号)	六角　僚子(405)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	ryoko.rokkaku@mcn.ac.jp

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野必修	単位数(時間)	4(60)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	在宅における看護現象を科学的に分析・評価するため、周辺科目と当該科目を関連させ、研究能力を修得する。	
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	５．看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
到達目標	1.研究計画書に沿って、研究を実施する。 2.論文を完成する。 3.研究の成果を発表する。	
成績評価方法(基準)	論文、発表媒体及び発表内容の作成過程での学修状況（課題や提出物の期日厳守含む）(20%)、研究への積極的な取り組み（20%）、論文(40%)、発表媒体及び発表内容(20%)から総合的に評価する。	
教科書	各自に適したテキストを推薦する。	
参考書等	各自に適したテキストを推薦する。	
受講者へのメッセージ	主体的学修を望む。	
備考		

学　習　内　容

本科目は、特別研究の後半として位置づくものである。
修士論文の完成とその発表までとする。その間の研究プロセスとしては、研究倫理委員会より承認が得られた段階から、研究計画書に沿って、計画した対象からデータを収集・分析し、これらをもとに研究論文の要件を充たすよう完成し、発表する。
ここでは、在宅看護領域において、終末期がん患者の看護、在宅ホスピスケアシステムの構築、在宅療養患者と家族への支援などのテーマを研究課題とし、これらに関する研究指導を行う。

1.ガイダンス
2.研究実施と結果分析
3.研究分析結果報告と討議をしていく。
4.実施した研究を論文として記述し、論文を作成する。論文作成段階で、討議を行い、論文の精度を上げる。
5.抄録（論文要旨）を作成する。修士論文（審査用）を提出する。
6.発表原稿、発表媒体等を作成し、論文発表（論文審査、最終試験）の準備をする。
7.修士論文発表会（最終試験）